

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立城南中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 「不登校対策」において、昨年度から引き続き成果指数(数値目標)を達成できなかった。全職員の取組に対する意識は高いものの、なかなか現状打破が難しい。そこで、学校関係者からの意見にあったように不登校生徒を減らすための取組の充実にはどうかと考える。 全体的には良好な教育活動が出来たと考えられるが、細かく見るとキャリア教育や安全教育にあと一工夫が必要だと感じた。 前年度課題に挙げられていたコミュニティスクールの認知度については、保護者は変わらず8割を超えておりある程度浸透していると考えられる。教職員及び生徒については今回6割から7割程度に認知度が上がっている。今年度の様々な行事のアナウンスの際にCSであることを意識して行ったことの効果ではないかと考えられる。 「学力の向上」の成果指標についての検討 スケジュール帳を活用した家庭学習への取組についての検討

2 学校教育目標	『城南中学校生徒としての誇りをもち、たくましく生きる生徒の育成』 ～「城南魂をもち主体的に学び、人の気持ちのわかる人」の育成を目指して～
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ICTを効果的に活用することで「個別最適な学び」を充実させ、「協働的な学び」につなげる。 不登校を減らすための対策として、生徒指導の三機能を基盤にした開発的生徒指導の充実を図る。 学校教育力向上を目的とした、地域との連携（城南中学校運営協議会、城南豊夢学園運営協議会）の活性化を図る。 特別支援教育に向けた、生徒、教師の「困り感」解消に向けた取り組みの充実を図る。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				達成度 (評価)	達成度 (評価)	達成度 (評価)	達成度 (評価)			
●学力の向上	○全職員による共通理解・共通実践「個別最適な学び」と「協働的な学び」の考え方を取り入れた学習活動・家庭学習の充実に向けたスケジュール帳(NOLTYスコラ)の活用	○学校評価アンケートで「授業以外でもICT機器等を積極的に利用して学習内容の理解に努めた」と回答した生徒75%以上 ○「自分で計画し、家庭学習を行った」と回答した生徒75%以上 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の考え方を取り入れた授業を実施できた」と回答した職員80%以上	・全職員で、ワークシートやICT機器等を活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の考え方を取り入れた授業を実施する。 ・生徒に家庭学習について考えたり、友人の学習法を学んだりし、自分の計画を立てさせる。							校内研究 学力向上
	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動するなど、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートで「自分や周りの人の命を大切に、思いやりの心で周りの人に優しい言葉をかけたり、行動したりしている。」と回答した生徒を85%以上とする。	・授業参観の時には道徳の授業を公開することで、家庭や地域の方々とも心の教育についての連携を図る。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等を実施する。							道徳教育
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていないと回答した教員を90%以上とする。	・いじめに関するアンケートを行い、早期発見、早期対応を行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に5回以上行う。							人権・同和教育 生徒指導
	●生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	・授業や各行事のリーダーを委員とし、出番・役割・承認を保障する。 ・SCによる生徒への心理教育を実施する。 ・1年時に職業調べ、職業人に学ぶ、2年時に職業体験などを行い、キャリア教育の充実を図る。							キャリア教育 特別活動
●心の教育	○不登校の未然防止・早期発見・早期対応に向けた組織対応の、全職員による共通理解・共通実践	○学校評価アンケートで「不登校の未然防止や改善などに向けて些細なことも見落とさずに学年(学校等チーム)での取り組みができてい」と回答した教員90%以上	・定期的な教育相談アンケートやQUアンケート等を活用する。 ・専門的な知識を持つ外部人材を活用した職員研修や生徒講話などを実施する。 ・SCやSSW、サポート相談員や関係機関、地域との連携を強める。 ・部会や会議等において職員で情報を共有し、共通認識・共通実践を心がける。							教育相談
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○「望ましい生活習慣の形成」 ○「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ○朝食をとって登校する生徒85%以上	・食に関する意識調査、生活状況調査の実施 ・食育に対する講演会の実施 ・保健だよりの発行 ・生徒会を中心とした健康づくり、体力づくりへの取組の活性化を図る。							保健教育
●健康・体づくり	○「安全に関する資質・能力の育成」	○命に関わるような生徒の交通事故・生活事故(ゼロ) ○生徒の交通事故を5件以下にする。	・交通安全教室の実施と自転車点検を保護者と連携して充実させる。 ・室内における危険箇所や危険な状況について知らせたり考えさせたりする機会を設ける。							安全教育
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●業務委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ・月間平均時間外勤務時間数が45時間以下の職員80%以上 ・全職員年休5日以上の取得	・その日の学校施設予定時刻を毎日示す。 ・時間外勤務時間数が45時間以下の職員数を毎月示す。 ・困難な事案は複数で連携して取り組むことで負担軽減を図る。							教頭 主幹教諭 指導教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○学習用端末の効果的な活用	○授業でICT機器を効果的に活用していると答える職員を85%以上	・全職員のICT機器スキル向上のための研修会を開催する。							情報教育
	●特別支援教育の充実	○「障害のある生徒個々の障害に配慮した、通常の教育課程に基づく指導	○「特別支援教育の視点を踏まえ、生徒への支援を行っている。」と回答した職員が85%以上。	・特別支援教育の視点を全職員が持つために、生徒一人一人の実態を把握し、個々にあった支援について考え、実践力を高められるような研修を実施する。						特別支援教育
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				達成度 (評価)	達成度 (評価)	達成度 (評価)	達成度 (評価)			
○開かれた学校づくり	◎地域を愛し、地域に愛される生徒の育成 ○城南中学校運営協議会、城南豊夢学園運営協議会の活性化 ○家庭や地域との連携、小中連携の取組の深まり	◎地域のニーズや要望をしっかりと踏まえ、地域と共生、協働をめざす。 ○城南中学校運営協議会、城南豊夢学園運営協議会の活性化 ○学校行事の参加率を70%以上とする。 ○学校評価アンケートで「地域行事に参加しようと思っている」と回答した生徒を60%以上にする	・CS協議内容を十分に検討し、豊夢学園のプロジェクトを推進し小中連携の充実を図る。 ・学校行事の案内について、発信方法や発信内容を検討し、保護者の「見てみたい」「参加したい」という意識の高揚につなげられるようにする。 ・メールシステムとネットを活用し、保護者のニーズや意識を調べ、学校運営に生かす。 ・全校生徒だけでなく、部活動ごとにも呼びかけ、学校、地域のボランティアや行事に参加するよう呼びかけ、参加につなげる。							主幹教諭 教頭 指導教諭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--